

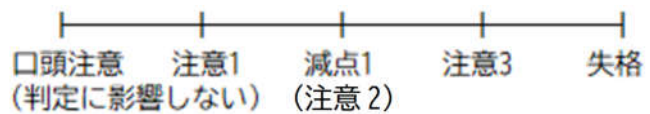
フルコンタクト空手

ルール

- ◇ フルコンタクト空手ルールの試合は、一般的なフルコンタクト空手ルールに準拠する
- ◇ 幼児からでも上段の膝蹴りは有効打とし、的確に決まった場合は技ありとする
- ◇ 同様に幼児から胴廻し回転蹴りも有効打とし、的確に決まった場合は技ありとする
- ◇ 幼児～小学2年生までは早めの技有り等を示す

反則

- ◇ 押し、掴み、投げ、掴みからの攻撃、金的、膝関節への攻撃、顔面へのパンチ
- ◇ 審判5人中、3人が認めたら、注意1、注意2で減点1、注意4（減点2）で失格
※3審制の場合は3人中、2人が認めた場合
反則による失格の早見表



- ◇ 反則による続行不可能となった場合、反則した方の反則負けとなる

防具

- ◇ 各自の道場での試合服装とする
- ◇ 拳サポーター、すね当て、ファールカップ、ヘッドギア
- ◇ 3年生以上はひざ当てを着用する
- ◇ 幼児、1年生はプロテクターを着用する
- ◇ 防具は各自の物を使用する
- ◇ 男子対女子の場合はプロテクターの着用は任意とする

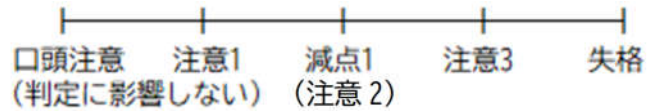
グローブ空手

ルール

- ◇ グローブルールの試合は、一般的なキックボクシングルールに準拠する (K.Oルール)
- ◇ 相手の攻撃によるダウン、又はレフリーの判断によるダウンにより、10カウント以内で続行できなければK.Oとする
- ◇ 又、戦意喪失など続行不可能とレフリーが判断した場合はT.K.Oとする
- ◇ 2ダウンK.O制とする
- ◆ 当日は計量を行う。計量で申告体重を1kg以上オーバーした選手は減点1となるが、計量後、規定時間内に範囲内に落とした場合は双方の合意のもと、罰則は無しとする。再計量はフルコンの試合が終わり次第に行う。
- ◇ プッシングはOKとする
- ◇ テンカオ（組まずにボディへの膝蹴り）はOKとする
- ◇ Aクラス以上は首相撲（膝蹴りは3秒まで）あり、ワンキャッチ・ワンアタックも有効とする

反則

- ◇ 掴み、首相撲※1、首相撲からの膝蹴り※1、顔面への膝蹴り、投げ、金的、膝関節への攻撃、バックハンドブロー ※1 Aクラスは首相撲あり（膝蹴りは3秒まで）
- ◇ ダメージの無い掴み程度の行為は口頭注意
- ◇ 口頭注意が何度も続く場合（2~3回）で注意1、故意による反則は減点1（注意2）
酷い反則行為が合った場合は、減点1を
- ◇ 審判5人中、3人が認めたら、注意1、注意2で減点1、注意4（減点2）で失格
- ◇ ※3 審判の場合は3人中、2人が認めた場合
- ◇ a ダウンの有無
- ◇ b 減点1
- ◇ c 相手へのダメージ
- ◇ d 有効打
- ◇ e 全体的な試合の支配率
- ◇ f 手数、気迫
- ◇ a>b>c>d>e>f この順を判定の基準の強弱とする
- ◇ 基本的にダウンを取った方が勝ち
- ◇ ダメージ、有効打共にA選手の有利でも、A選手に減点1がある場合は、B選手の勝ちとする
- ◇ 反則による続行不可能となった場合、反則した方の反則負けとなる
- ◇ Bクラスは首相撲無し、首に掛かる掴みも無し、ミドルキックや前蹴りを対象とするワンキャッチ・ワンアタックも無しとする
- ◇ 掴みか押しが微妙な場合は口頭注意、又は流す



防具

- ◇ 幼児のグローブルールは無しとする
- ◇ 小1はプロテクターを任意とする
- ◇ 男子対女子の場合、女子のプロテクターは任意とする
- ◇ 小学生 28.0kg まで 08 オンス、28.1kg 以上 12 オンス
- ◇ 中学生 38.0kg まで 12 オンス、38.1kg 以上 14 オンス
- ◇ グローブの下は軍手、バンテージどちらでも OK とする
- ◇ ヘッドギアは各自の物とする ※面付きのヘッドギア推奨、面無しの場合はマウスピース必須
- ◇ 膝当ては必須とする